

退職記念号発刊にあたって

大阪経済大学経済学部長 藤 本 高 志

2016年3月末をもって、大阪経済大学経済学部教授の櫻井幸男先生がご退職されました。大阪経大学会では、『大阪経大論集』第67巻第2号（経済学部特集号）を「櫻井幸男先生ご退職記念号」としてここに発刊し、先生の長年にわたる本学へのご貢献に敬意を表すものです。

櫻井幸男先生は、1949年3月、奈良県にお生まれになりました。1972年3月、和歌山大学経済学部をご卒業後、一橋大学大学院経済学研究科へ進学され、1978年3月、博士課程を単位取得修了されています。その後、1982年4月、経済学部専任講師として本学に着任され、1986年3月には助教授、1994年6月には教授になられ、34年にわたり、本学の教育・研究にご貢献いただきました。この間、経済学部長、経済学研究科長、学生部長、図書館長を歴任されました。また、学会活動では、2012年から2014年の間、社会政策学会全国理事を務められました。

先生は、経済理論と現代資本主義論を担当され、1980年代以降のイギリス経済の変遷を参考に、日本の経済発展について研究されてきました。先生がイギリス経済を研究対象とされたのは、ポンドがアメリカのドルのような基軸通貨ではないからです。日本の円と同様、経済を救済するためにドルを増発する逃げ道がありません。そのため変遷するイギリスの政策は日本にも適用できるのではないかと考えられました。主要著書に『現代イギリス経済と労働市場の変容』青木書店があります。生産性上昇のメカニズムを、派遣など多様な労働形態による雇用の流動化とあわせて分析した労作です。

先生は、大学院生の指導にも、熱心に取り組んで来られました。常に大学院生を抱え、大学院生の指導を機に、新しい研究テーマにチャレンジしてこられました。何人もの研究者を育てられましたが、その一人が、経済学部准教授の塚谷文武先生です。

先生は、2016年3月の退職後も、特任教員として、大阪経済大学の発展にご尽力いただいています。先生の朗らかな笑顔と大きな声は、周りの人間を明るくさせてくれます。ご健康に気を付けていただき、研究の益々の発展を祈念するとともに、教育へのご尽力をお願いし、この退職記念号を献呈させていただきます。